

東京 2020 オリンピック聖火リレーについて

1 **コンセプト** Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。

2 **日程** [2020年3月26日(木)～7月24日(金) 121日間]

①3/26～3/28 福島県→②3/29～3/30 栃木県→(略)→③6/29～7/1 神奈川県
→④7/2～7/4 千葉県→⑤7/5～7/6 茨城県→⑥7/7～7/9 埼玉県→⑦7/10～7/24 東京都

3 実施方法等

○聖火ランナーは、1人で走行し、1人当たりの走行距離は約200m、時間は約2分。

1日80～90人を目安に調整中。

○隊列は、聖火ランナーと十数台規模の車両で構成され、1市町村でのリレー終了後、聖火はランタンに格納され、次の市町村へ車両移動する。

○1日の終わりに聖火到着を祝うイベント「セレブレーション」を実施する。千葉県内のリレーでは、1日の最初に「出発式」も実施する。



4 聖火ランナー選定の基本的な考え方

○国籍、障がいの有無、性別、年齢（※安全なリレーのために下限年齢を設定）のバランスに配慮しながら、幅広い分野から選定し、開かれたリレーとする。

○地域で活動している人を中心に選定。

復興・不屈の精神（支えあう心）

・日々の生活の中でも、家族、仲間、同僚などお互い支え合って、あきらめずにどんな困難にも立ち向かう人

（例）復興のために、地域コミュニティ再生に多大な貢献をした人

違いを認めあう包容力（認めあう心）

・様々な人々との違いを認めあいながら新たなものに取り組んでいる人

（例）様々な個性の子供たちのためのスポーツコミュニティを作り、多くの人が集う地域の拠点を作った人

地域の人と移住者をつなげて、新たな地域ブランド構築に貢献した人

祝祭による一体感（高めあう心）

・聖火ランナーとして走ることで、地域の一体感を高め合うことができる人

（例）地域の伝統文化活動を縁の下で支えている人